

基本目標1 支え合い助け合い 『人』がつながるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和6年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえた事業内容の見直し	今後の方向性	担当部署
	2 福祉避難所への受入委託	「地域防災計画」による「福祉避難所」について、締結した協定に基づき、高齢者福祉施設・障害者福祉施設への受け入れを委託します。	⑬要配慮の方で市の指定避難所において生活が困難な方を直接受け入れる「指定福祉避難所」の受入対象者について、6施設で10人（対象者8人、付添者2人）を特定した。	◎計画より進んでいる	⑬指定福祉避難所の災害発生時の受入準備や運営、報告などの訓練等を実施する必要がある。	⑬無し	維持	⑬社会福祉課
	3 防災環境の整備と自主防災組織への助成	災害発生に備え、必要な防災備蓄品や備蓄倉庫、避難路の整備や避難場所標識の設置等、防災環境を整備します。 また、自主防災組織に補助金を交付します。	⑭備蓄食糧の更新（主食13,000食）、指定避難場所看板の整備、災害時における孤立集落対策として浄水器・ポータブル電源等8セットの整備を実施。 自主防災組織補助金を、31行政区等に交付。	◎計画より進んでいる	⑭継続して防災備蓄品及び備蓄食糧を整備していく。 また、各行政区等に自主防災組織補助金を活用してもらい、防災に対する意識の醸成を図る。	⑭無し	維持	⑭消防防災課
5 外出に困らない地域をつくる	1 外出支援サービス事業の検討	外出支援サービス先進地の取り組みについて調査し、新たな外出支援の仕組みについて検討します。	①デマンド型交通の「チョイソコ南房総・館山」については、R5年度より本格運行となり、沿線住民等の認知度も上がってきているためか、1日平均6人超の利用となっている。また「チョイソコまるやま」については、アンケート等の結果から、鴨川方面（鴨川国保病院、亀田病院）や安房地域医療センター行きの便を新たに設定した。引き続き実証運行においてニーズに合った運行を検討する。 R7.3月より、公共交通の補完・夜間の移動手段の確保として公共ライドシェアの実証実験を開始する。 ②社会福祉協議会が実施しているボランティア移送サービスについては引き続き運行がなされている。協議の場が従来の交通空白地有償運送運営協議会から地域公共交通会議に移管されたことで、他の公共交通施策と一体的な展開が期待される。 ③障害者に対する外出支援サービスとして平成27年度から移動支援事業、令和5年度から福祉タクシー利用助成を行っている。これ以外に必要なサービスの洗い出しや外出支援の課題を南房総市地域自立支援協議会の中で検討を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる △計画より遅れている	 ①地域の商店等も減少し、病院・学校に加えスーパー等、日常の買い出しなど生活圏が広範囲なことに加え、公共交通も脆弱なため、市域全体の移動手段を網羅的に確保するのが困難であり、全庁横断的な検討・取組が必要 ②地域課題として庁内外横断的に検討する必要がある。 ③市内でも地域格差があり、一律の対応が困難である。	①無し ②無し ③無し	①維持 ②検討 維持	①企画財政課 ②高齢者支援課 ③社会福祉課
	2 外出支援への助成	外出が困難な非課税世帯の高齢者がタクシーまたはバスを利用する場合に、その料金の一部または全部を助成します。	④福祉タクシー券（高齢区分）（1枚700円上限、最大30枚、1回あたり4枚まで）及び高齢者外出支援バス券交付者（1枚100円、最大100枚、1回あたり4枚まで）を交付した。 令和6年度交付実績 タクシー券 469人 バス券 285人	○ほぼ計画どおり進んでいる	④バス路線の減便や撤退、タクシー事業者の運転手不足や廃業等により加速する公共交通の空白や不便を解消していく必要がある。	④無し	維持	④高齢者支援課
	3 市営路線バスの維持管理	市民の生活路線である市営路線バス（富浦線・富山線）の維持管理や改善を行います。	⑤市営路線バス（富浦線・富山線）について、バス事業者に業務委託をして運行及び管理を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑤富山線については、富山・伊予ヶ岳の観光・登山客の利用が多くあるが、全体としては人口減少・マイカー利用の影響により利用者が減少傾向にある。	⑤無し	維持	⑤企画財政課
	4 地域生活路線バスの維持	利用者の減少により存続が危ぶまれるバス路線を維持するために、事業者に補助を行います。 民間事業者が廃止した路線を、廃止代替路線としてバス運行します。	⑥市内を走る民間路線4路線について、バス事業者に運行経費から収益を差し引いた赤字金額を関係自治体との距離按分により補助を行い路線を維持した。 バス事業者が廃止した2路線のうち1路線（丸線）について、廃止代替路線として運行を行った。（もう1路線（平群線）については、令和5年10月より乗合送迎サービス「チョイソコ南房総・館山」の運行に切り替えている。） また上記のほか、南房総・館山地域公共交通活性化協議会において令和3年8月に策定した「南房総・館山地域公共交通計画」に基づいて各事業を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑥赤字路線の補助については、人口減少や高校生の通学において路線バスを利用しないなど、利用者の減により年々赤字額（＝補助額）が増加している。	⑥無し	維持	⑥企画財政課
6 福祉活動への意識を高め、担い手を増やす	1 福祉教育の推進	小・中学校での福祉教育を推進します。また、市民にも福祉教育の普及を図ります。	⑦各教科の学習や総合的な学習の単元において、「多様性」についての学習がある。支援を必要とする高齢者や視力や聴力など障害のある人についての理解を深める学習を、各小中学校が教科横断的に行った。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が断続的に蔓延する中、交流形態を工夫することで継続することができた。 ⑧市役所各施設において、要配慮者のマークの周知や福祉関係のポスター・パンフレット設置を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑦高齢者施設への訪問はまだ行うことができない状況である。外部の人たちとの交流学習の持ち方について工夫が必要である。 ⑧効果的な啓発活動の実施	⑨来年度も年間を通して継続性のある交流を大切に、以下の四つの交流形態を工夫することで、お互いが身近な存在に感じられるようになると考える。 （1訪問交流 2オンライン交流 3DVD・手紙等の交流 4通信・作品等の交流） ⑩無し	維持	⑨子ども教育課 ⑩社会福祉課
	2 青少年赤十字活動への助成	「青少年赤十字活動」を行う学校に補助金を交付します。	⑪学校での赤十字活動ができなかったことから補助金の申請がなされなかった。	△計画より遅れている	⑪市内に青少年赤十字活動を実施する学校がない	⑪無し	維持	⑪社会福祉課

基本目標1 支え合い助け合い 『人』がつながるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和6年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえた事業内容の見直し	今後の方向性	担当部署
	3 介護人材の確保	介護職の人材確保、質の向上を目的に介護職員初任者研修または実務者研修に要した費用の一部を助成します。また、市内の介護施設等で介護福祉士として従事しようとする人に、修学資金を貸付けます。 外国人人材の育成・確保について検討します。	⑩介護職員初任者研修または実務者研修に要した費用の一部を助成した。対象を介護施設のほか障害者施設を追加した。 決定件数 10件 介護施設等で介護職として従事しようとする人に、修学資金を貸付けを行った。 申請・決定件数 1件 留学生の就労を受け入れる市内施設に対し、送迎費用等の補助を実施した。 申請・決定件数 1件	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑩市内に開校した介護福祉士養成校と連携するとともに、支援制度の利用促進を図る必要がある。	⑩無し	維持	⑩高齢者支援課